

首都大学東京（現・東京都立大学） 法科大学院
2020年度入学者選抜試験問題 出題趣旨（3年履修課程）

小論文

首都大学東京法科大学院では、複雑な社会現象に高い関心を示し、それを的確に把握したうえで分析・判断するための論理的思考力を有するとともに、自己の思考を的確に表現することのできる学生を求めている。

2019年（2020年度入試）に実施した法学未修者選抜では、島田晴雄『日本の雇用 21世紀への再設計』（ちくま新書、1997年）48－78頁を素材として、日本の伝統的雇用慣行の特徴といわれる「終身雇用」、「年功賃金」に対する著者の考えについて、それを時間や分量の制約の中で過不足なく自分の言葉で表現できるかを問うた。

以上